

岡崎市議会議長 様

支出番号	19
------	----

会派名 自民清風会
代表者名 加藤 義幸



下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政務活動旅行報告書

令和2年 3月 11日提出

活動年月日	令和2年 2月 5日 (水) ~ 2月 6日 (木)	
氏名	築瀬 太	
用務先 及び 内 容	1	用務先 千葉県 千葉市
	2月5日	内 容 地方創生EXPO
	2	用務先 千葉県 千葉市
	2月6日	内 容 地方創生EXPO
	3	用務先
		内 容
	4	用務先
		内 容
備 考		



調査研究（研修）視察報告書

報告者： 築瀬 太

視 察 日	令和2年2月5日(水)～6日(木)	場 所	千葉市 幕張メッセ
視 察 内 容	第3回 地方創生 EXPO		
視 察 者	築瀬 太		

「第3回 地方創生 EXPO」



地方創成 EXPOとは（開催概要より）

近年、全国各地で地方創生に関わる取組みが推進される中、未だ多くの自治体が「何をしたら良いかわからない」「予算を何に使えば良いのかかわからない」という状況下であり、地域課題解決のために協力できるパートナーや、委託事業やプロジェクトを任せられるような民間企業を探しています。

本展には、観光振興、インバウンド促進、移住・定住促進、自治体のICT利活用促進、地域経済活性化、人手不足解消のソリューション、地域の健康促進など、地方創生の推進を支えるあらゆるサービスが出展。

全国の自治体をはじめとした、地方創生に関係する、あらゆる法人や団体が具体的なサービス・ソリューションの導入、比較検討を行うための場が、地方創生 EXPO です。

- 名称：第3回 地方創生 EXPO (3rd Local Value Creation Expo)
- 会期：2020年2月5日(水)～7日(金) 10:00～18:00 (最終日のみ 17:00 終了)
- 会場：幕張メッセ
- 主催：リード エグジビション ジャパン株式会社
- 特別後援：(一財) 地域活性化センター



展示内容見学 2月5日 16:30~18:00

地方創生 EXPO は、観光振興、インバウンド促進、移住・定住促進、自治体の ICT 利活用促進、地域経済活性化、人手不足解消のソリューション、地域の健康促進など、地方創生の推進を支えるあらゆるサービスより560社が出展しており、全国の自治体をはじめとした、地方創生に関係する、あらゆる法人や団体が具体的なサービス・ソリューションの導入、比較検討を行うための展示会です。



展示会場内には製品カテゴリー毎にまとめて見られるように4つのゾーンに分かれていました。

- ・スマートシティ推進ワールド
- ・観光・インバウンド支援ゾーン
- ・移住・定住促進ゾーン
- ・ICT利活用推進ゾーン

地方創生 EXPO 基調講演 2月6日 9:30~10:00

演題：「日本が目指すべき地方創生とスーパーシティ構想」

講師：片山 さつき 前内閣府特命担当大臣（地方創生担当）参議院議員

AIやビッグデータを活用しつつ、自動走行やキャッシュレス決済など先端技術が導入された都市をめざす「スーパーシティ構想」について、前地方創生担当大臣でもあった片山さつき参議院議員から説明いただきました。第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」からスーパーシティ構想に至るまで、直接かかわってきたご本人からその全容を聞くことができました。



展示内容見学 2月6日 10:30~12:00

基調講演の後、会場内の以下のブースを回り、担当者から現場の声や最前線の情報などを伺うことができました。

- KDDI_空き家の有効活用に「高解像度 VR」を活用
- NTT アーバンソリューションズ
- エスピージャパン_全国 200 地域の観光プロモーション
- パワーシェアリング自治体新電力
- 地域の消防救急防災をサポートするホワイトシャッターWhiteShutter
- NTT コムウェア_東日本旅客鉄道株式会社との協創
- DMM 地方創生
- ゼンリン住宅地図 LGWAN ゼンリン地域防災マップ
- 阪急交通社_地域連携
- SSMR ビジネス推進コンソーシアム事務局_観光資源をキャッシュポイント
- NTT 東日本 Digital
- NTT タウンページデータベース×位置情報
- 長谷川工業セグウェイ
- Grow with Google

所 感

幕張メッセの会場はたいへん広大で、入場時にもらった会場マップをみてもどこに何があるか把握困難なほどでした。初日は、時間が限られていたため、会場全体を回り、明日迷わず各ブースを訪れることができるよう、展示会の全体像を把握に努めました。実は、本展示会はライブ・エンターテイメント EXPO、イベント総合 EXPO、スポーツビジネス産業展、地方創生 EXPO の4つの関連展示会が同時に開催されており、翌日の基調講演の会場は展示会場からかなり離れたところでしたが、前日に下見しておいたことで、当日スムーズに会場内を動くことができました。



6日の基調講演では、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を先頭で推進してきた、片山さつき先生から、直接話を聞くことができた。たいへん有意義なセミナーでした。

第2期の主な方向性として東京一極集中の是正と地方創生 SDGs と地域における Society5.0 の推進など「新しい時代の流れを力にする」ところからスーパーシティ構想が打ち出されてきたのだという、そもそものところから解説いただき、よく理解できました。

また、スーパーシティ構想は待ったなしで進められており、「スーパーシティ」構想に関連する知見や技術を持つ企業が、バーチャルの展示ブースで常時 SNS 上に出席することで、知見の収集に困難を感じている自治体と事業者の間の橋渡しを行うことを目的として「スーパーシティ・オープンラボ」がすでに 77 の団体企業からの登録を得て始まっていることや、全国 51 の自治体からも応募があり、その中でも愛知県から 8 自治体もの応募があり、通常あっても県で 1 自治体程度なのに愛知はすごいと言われちょっと誇らしい気持ちになりました。もちろんその中には岡崎市からの提案も入っており、今後、国・県・市としっかり連携を図り、岡崎市らしいスーパーシティ構想の推進を図ってまいりたいと感じました。

